

図書館員のひみつの本棚 第 210回

今月は、幼児から大人まで一緒に楽しめる絵本をご紹介します。

『ここはおうち』（2023年）

谷川 俊太郎／文 junaida／絵 ブルーシープ ¥2200(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆

高校★☆☆ 一般★★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

数多くの詩だけでなく、翻訳や絵本作品などでも著名な詩人の谷川俊太郎さんと、可愛らしく、緻密な絵を描かれ、近年は本の挿絵や絵本作品も多く手掛けられている junaida さんによる合作の絵本です。

この絵本は、谷川さんが書いた文章をもとに junaida さんが絵を描き、その絵にあわせてふたたび谷川さんが文章を直し、というように制作されたそうです(※)。そのように作られたことが影響しているのか、読む人がいろいろな意味に受け取れるわかりやすい文章、見る人がさまざまな感情を呼び起こす絵になっています。そのため、人によって感じ方が変わる絵本かもしれません。

(※『絵本★百貨典』(谷川 俊太郎/[著] ブルーシープ)p554~560を参照)

<子どもに手渡す時のポイント>

文章はすべてがひらがなで書かれているので、幼児からでも読めるようになっています。また、見開きで1枚の大きな絵となっていて、様々なキャラクターや物が細かく描きこまれているのでさがし絵のように遊べたり、またイラスト集のように眺めたりするだけでも見応えがあるので、幼児から大人まで楽しめます。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。